

御祓中だより

9月号(裏面有り)

学校ホームページ <http://cms1.ishikawa-c.ed.jp/~misogj/NC2/htdocs/>
学校メールアドレス misogityu@city.nanao.ishikawa.jp

平成23年 9月 1日
No.6 七尾市立御祓中学校
TEL 53-0201

「ワン・フォー・オール」の心を持って!

長い夏休みを終え、いよいよ2学期が始まりました。(と言いながらも夏休み後半からは、すでに補充学習や体育祭の練習などで登校している状況です。)2学期は体育祭や文化祭、合唱コンクールなどの学校行事があります。学級が結束し、学年を超えた縦割り集団による熱い競い合いが展開される、この行事こそが2学期のメイン・イベントに他ならないと思います。また、1, 2年生の部活動は、秋の新人大会を見据えてしっかり練習しようと考えていると思います。さらに、3年生にとっては半年先に控えた進路決定に向けて、本格的に受験勉強にも取り組む時期を迎えます。

ところで、「ワン・フォー・オール、オール・フォー・ワン」という言葉を聞いたことがあるでしょう。「1人はみんなのために、みんなは1人のために」と訳されています。この言葉は、ラグビーのチームプレイの精神を表す言葉として有名ですが、その語源はラグビーからではなく、フランスの作家アレクサンドル・デュマ・ペールの小説『三銃士』の中で、ダルタニャンと三銃士の誓いの言葉として登場しています。

ラグビーでは、メンバーそれぞれに役割があり、チームのためにひたすら耐えながらスクラムを組む人もいれば、パスを回して華麗なステップを踏んで走り抜けトライをする人もいます。しかし、チームの得点はトライした人だけが偉いのではなく、みんなが協力してゲットしたという気持ちが強いように感じます。この言葉は、「自分はチームのために責任を持って精一杯自分の役割を果たすぞ」という思いと同時に、「チームが自分を必要としてくれている。一人でも欠けたらダメなんだ。自分はみんながいるからこそチームの一員として頑張れるんだ」という気持ちを大切にしたい合言葉ではないかと思います。

体育祭や文化祭、合唱コンクールなどで、一人ひとりが「団」や「学級」というチームのために自分のよさを生かしながら、かけがえのない感動を味わい、実りの秋をみんなで創出してもらいたいと思います。(部活動でも同じことが言えると思います。)

「ワン・フォー・オール、オール・フォー・ワン (one for all, all for one)」の心を持って!

除草作業のご参加ご協力、 ありがとうございました

夏休み中の8月29日(日)には、早朝6時半から「第2回親子除草作業」が行われ、たくさんの方にご参加をいただきました。今回は天候も芳しくなく、満足のいく除草作業ではなかったのですが、今回は天候にも恵まれて、皆様のご協力のおかげですっきりきれいになりました。誠にありがとうございました。生徒たちもきれいなグラウンドで思いっきり体育祭に臨めると思います。

体育祭及び文化祭の 開催のお知らせ

9月3日(土)には体育祭、10日(土)には文化祭が行われます。

体育祭では、男子全員による組体操や女子全員によるよさこい、団対抗の応援合戦などがあります。一方、文化祭は学級毎の出し物やPTAによるバザー、七尾高校のサイエンスショーなど盛りだくさんです。ご家族、ご近所お誘い合わせのうえ、ご来校ください。お待ちしております。

大会成績

Congratulation!

- ◆石川県中学校体育大会ソフトテニス大会（7月23日）
準優勝 男子団体（西田和志、麻生舜太、長尾啓汰、畠山陽光、森下太智、寺田智樹、田口善章、竿漕大夢）
- ◆石川県中学校ソフトテニス選手権大会（8月26、27日）
優勝 男子団体（森下太智、高田翔太、田口善章、寺田智樹、竿漕大夢、出村宇宙）
第3位 男子個人 田口善章・竿漕大夢組

同窓会より大型プリンターの寄贈 ありがとうございました！

7月19日（火）に同窓会役員会がありました。そのときに大型インクジェットカラープリンターの導入の願いをしましたところ、本校生徒・教職員のために快く受け入れて下さいました。

なぜ大型インクジェットカラープリンターが必要なのかということですが、本校では23、24年度の2カ年にわたって、石川県教育委員会指定による「体力向上をめざした食育推進事業」の研究に取り組み、2年目の24年度に最終研究発表会を予定しています。

一方、七尾市の伝統校として本校に寄せる保護者や地域の期待には、学力の保障と人間力の向上をもって応えなければならないと考えています。そのために、日頃からの授業実践に力を注ぎ、効率のよい授業の工夫改善を図っていくために、大型カラープリンターが必要になってくるということです。

具体的には、数学の時間に教科書の資料を提示するときに、これまでだとA3版用紙を何枚かに印刷し、それらを貼り合わせて黒板に提示していたのが、大型プリンターで印刷すると何の作業もいらず、そのまま黒板に提示でき、時間的な効率だけでなく生徒にとって視覚に訴える資料になるというメリットがあります。

また、廊下や教室等で掲示する資料やポスター等の掲示物にも利用でき、生徒の目を引くことができます。

特に、24年度の最終研究発表会に向けた研究実践及び授業実践を効率よく取り組むためには、欠かせない備品だと思い、導入のお願いをさせていただいたということです。同窓会会員の皆様、本校生徒・教職員のために誠にありがとうございました。

扇風機のご提供 ありがとうございました

夏休みに入る直前に、お家で眠っている扇風機がありましたら、提供をお願いします、とお知らせしたところ、水谷愛芽さん（1の1）、出村宇宙君〔2台〕（1の2）、南まどか君（2の3）、橋場汐海さん（3の1）、供田弘基君〔2台〕（3の2）、寺岡びあさん〔2台〕（3の2）のご家庭から扇風機のご提供がありました。生徒たちは、残暑が厳しくなってもこの扇風機で乗り切ることができると思います。本当にありがとうございました。

集金引き落とし日のお知らせ

今月の集金の引き落とし日は、9月7日（水）ですので、お間違えなくお願いします。

Let's call... オアシスライン

～親と子のなんでも電話相談室～

◆相談内容：悩んでいること、困っていること

◆TEL 0767-52-0783

◆受付時間：13:00～16:00（月曜～金曜）

*匿名でのお電話で構いません。秘密は守ります。



児童生徒の俳句を見る通行人 —七尾市一本杉町

一本杉通り飾る200句

七尾・夏の俳句展始まる

児童生徒の感性、みずみずしく

七尾市一本杉通り振興会の「第3回一本杉通り夏の俳句展」(本社後援)は1日、同通り全体で始まり、地元の小丸山小や御祓中の児童生徒がみずみずしい感性で詠んだ俳句200句が通りの商店の店頭や店内に飾られ、買い物客や通行人を楽しませた。

同小6年生から80句、同中の1、3年生から120句が寄せられた。通りの回遊性向上を目指して開かれた。店頭などには「夕焼けにきらき

ら光る 七尾港」「夏の空 暑さをどけ 天の川」など夏をイメージした児童生徒の作品が並んだ。20日まで。

一本杉通り俳句展
北國(H23. 8. 10)

七尾の昔の写真 御祓中が整理 七尾市御祓中ボランティア委員会は26日、同市馬出町の同市教委市史編集室で、過去に市広報に掲載された祭りや自然、懐かしい町並みなどの写真約5千枚を整理する奉仕活動

を始めた。同委は3年前から夏休み期間中、奉仕活動が続いている。26日は1、2年生5人が参加し、昭和40、50年代などの写真約5千枚を、種類や時期別に仕分けた。活動に参加した生徒は白黒写真に取められた再開発前のJR七尾駅前などを見て関心を寄せ、ふるさとの歴史を学んだ。奉仕作業は27日も行われる。

← ボランティア委員会が「市史編集室」でボランティア活動活動(北國H23. 7. 27)

↓ ふるさと歴史教室「山の寺めぐり」(中日H23. 8. 8)
↓ " (北國H23. 8. 8)

寺の歴史、文化に興味

七尾・御祓中 散策しながら学ぶ

七尾市の観光ボランティアガイド「はろななお」が7日、同市御祓中学校三年の七十人を対象に、同校周辺にある寺院群で、ふるさと

の歴史や文化を学ぶ会を開いた。

生徒たちは一組に分かれて寺院群の十二の寺を歩いて回り、各寺で待つガイドから、寺の歴史や境内にある他

に百年以上のシイの木がある本行寺や樹齢七百年以上のシイの木が立つ実相寺などを見学。長谷川紗代さん(二毛)は「小学生のときと比べると、今はお寺に行かなくなった。怒

りていた」と寺院群散策を楽しんだ。

ガイドの大崎内蔵之介事務局長(左)は「七尾の歴史文化を大事にし、後世に残してあげる大人になってもらえれば」と話した。

中日

山の寺巡る

七尾・御祓中

七尾市御祓中PTAのふるさと歴史教室「山の寺めぐり」は7日、同市の山の寺院群で行われた。同校3年生70人が同市観光ボランティアガイド「はろななお」の案内で13カ寺を見学し、地域の文化に理解を深めた。

北國



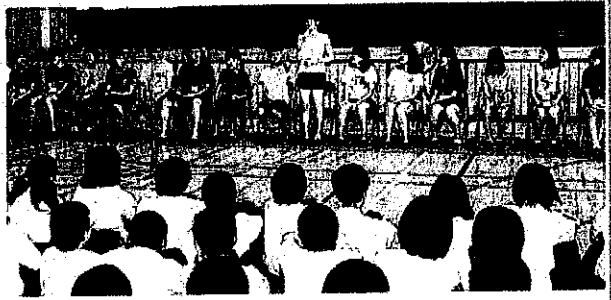
各寺を回り、寺の歴史や特徴を学ぶ生徒たち—七尾市小島町で

生徒会役員が中心となって、韓国・金泉市の中学生を受け入れ、交流しました。歓迎の看板を手作りにしたところ、金泉市の中学生たちはとても喜んでくれ、感激した様子でした。北國（H23. 8. 10）

姉妹都市交流で七尾市を訪れている韓国・

部活動、折り紙を体験

七尾・御祓中で韓国・金泉の生徒



歓迎式で自己紹介する金泉市の中学生
—七尾市御祓中

金泉市の中学生らの一
行26人は9日、七尾市
御祓中を訪れ、ソフト
テニスや卓球などの部
活動体験や折り紙を楽
しみ、交流した。
職場体験中の2年生
を除く生徒約150人
が参加した。歓迎式で
生徒会の寺岡びあ会長
が「今日は忘れられな
い一日にしましょう」
と呼び掛けた。
金泉市の一行は、七
尾サンライフプラザで
開かれた七尾東部中吹

奏楽部の定期演奏会に
参加し、「アリアン」
などの歌を披露。同市
多根町の山びこ荘で、
先月、七尾市訪問団と
して金泉を訪れた中学
生20人と一緒にバーベ
キューなどで交流し
た。

韓国・金泉市の中学生20名が 御祓中学校を訪問

私（黒崎）は七尾市・金泉市中学生交流事業の韓国訪問団の副団長として、7月25日から29日までの5日間、主に韓国・金泉市へ行ってきました。そのときに見聞したことから韓国の教育事情をランダムに紹介します。

- ①韓国の中学校は金泉市の中学校も含め、私立の割合が多い。ただし、私立中学校には入学試験はなく、その校区に住む生徒に対して、中学校から入学通知が出される。
- ②金泉中学校は、生徒数が約450名で、各教室は冷暖房完備である。
- ③教科毎に特別教室があり、その特別教室には、電子黒板が常設されている。
- ④伝統ある金泉中学校は高校を併設しているが、かつての勢いは右肩下がりになっている。そのため、高校は、昨年度から生徒数の減少を防ぐことと学力強化のために男女共学にした。
- ⑤金泉中学校でも学力向上が喫緊の課題であることから、特に国語、数学、英語において能力別授業を行っている。
- ⑥数学の上位層を対象にした能力別授業では、日本では高校のカリキュラムである微積分を、3年生が勉強していた。
- ⑦一方、学力向上の方策では教職員の指導力向上を掲げている。全国レベルの研修会に期待される若手を数多く出会させている。
- ⑧1校時が45分授業で、7限目までである。
- ⑨基本的には、韓国の中学校に部活動がないので、ほとんどの生徒は学習塾に通っている。また、学習塾以外では、テコンドーや柔道などのスポーツ教室に通っている。
- ⑩昨年度も訪問に関わってくださった金泉中学校の李教頭先生は、今年度から中学校でスポーツクラブを設定したそうである。
- ⑪日本の生徒たちは部活動でストレスを発散できるが、韓国の生徒は、勉強のストレスをどこで発散しているのかと聞くと、確かに発散する場がないと困った様子で話した。
- ⑫金泉中学校では給食があり、希望する生徒には夕食を準備しており、夕食後にその生徒たちは早い人で7時から、遅い人では9時、10時まで学校で勉強する。
- ⑬普段の勉強時間は、学習塾で3～4時間、家へ帰ってから1～3時間する。
- ⑭休日は当然のことながら、平日以上にもっと勉強する。
- ⑮金泉市の中学生は、ほとんど携帯電話（スマートフォンが多かった）を持っている。
- ⑯保護者は何の違和感もなく、簡単に携帯電話を子どもに持たせている。
- ⑰特にフィルタリングなどの規制がなく、学校へ持って行ってもよいが、授業が始まる前に学校に預けることになっているが、預けない生徒もいる。
- ⑱そういう中で、各家庭での教育にかける支出割合は、かなり高い。一流大学へ進学し、一流企業へ就職して、幸せな家庭を築く。かつての日本のバブル期特有な現象と同じである。
- ⑲夢を持っている子どもの割合が多く、かなり具体的である。
- ⑳韓国の教科書は、国定教科書でどの学校でも同じ教科書を使用している。